

地域の有力店と協力し地場おこしへ

# 地元有力店とコラボ大作戦展開

**室蘭鉄平ラーメン**

当社が、昨年に本格発売した新製品「当社、中井英策商店は、地元北海道伊達室蘭地域の有力店とコラボして、お互いのブランド力と集客力を生かした、新たな協業を積極的にスタートさせた。

3月8日から、登録温泉の老舗お土産店、貴泉堂本店では、当社製「噴火湾の恵み」や「キンキのかりんとう」などをカップリングしたセットに、当社「キンキいすし」のロゴマークが入った特製ステッカープレゼントキャンペーンをスタート、外国人観光客が押し寄せる温泉街の話題となっている。

また、3月20日からは、室蘭市内の複合商業施設、ぶらっとついで館内の人気ラーメン店「鉄火」が、当社の人気魚醤油「キンキの露」を使ったスープを新たに開発し、地元産のヤマト昆布を練り込んだ麺を使った新タイプのつけラーメン



## キンキいすしステッカー贈呈コラボ

### 登録貴泉堂

「いぶりの恵みつけ麺」を、特別メニュー限定提供で開始、さっぱりとした和風つけラーメンが大人気になっている。

ラーメン鉄火の志賀康生店長は「地元の名産品とコラボすることで、コラボする皆が元気になるはず。地元を盛り上げたい」と期待を寄せる。

さらに、室蘭市八丁平の居酒屋人気店「華美」では、震災で苦しむ石川県の復興に寄り添おうと、石川県の地酒と当社キンキいすしの両方の味を楽しもうと、特別メニュー企画を提供、キンキいすし特製ステッカープレゼントも同時に行っている。

この他にも、室蘭市内白鳥の鮮魚店「みなしん」、同市内マルソウしかなども、当社製品と「キンキいすし」特

## キンキ魚醬で和風ラーメン開発

### 室蘭鉄平ラーメン



キンキ魚醬を使ったつけラーメン

きんきん新聞  
第52号  
編集・発行元  
株式会社中井英策商店  
北海道伊達市南福町116-12

# キンキン新聞

中井英策商店とお客様を結びつくるメディア新聞

## 軍港イメージそのまま 横須賀港の迫力



横須賀港から見える海上自衛艦

軍港のイメージが強い横須賀は、一度行ってみたい港町だ。鎌倉から、三浦半島を縫うように走る電車は、閑静な住宅街が連なる逗子、東逗子駅を過ぎ、トンネルを目前に田浦駅に着いた。この駅は、列車の前方2両がトンネル内で止まるため、3号車以降の列車のドアが開くという珍しい駅だった。

そして、次の横須賀駅に着く。意外にこじんまりした駅舎に驚いた。大きく有名な港町の駅にしては？と思ったがそれには理由があり、明治22年に開業した鉄道横須賀駅の駅舎を残すためという説明が駅舎横に建てられていた。もっと驚いたのは駅のすぐ目の前が海、しかもすぐ横には今話題の、事実上の空母と言われる海上自衛隊護衛艦いずるが停泊している。

大船から途中下車しなければ、終点久里浜までは僅か30分足らずという短い路線ではあるが、見どころ感じどころ満載の面白、お勧め路線であることは間違いない。

## 魚醬専用工場完成

### 新生産ライン導入で量産目指す



当社、中井英策商店は、昨年から建設を進めていた本社工場横の魚醤油専用工場稼働を急ぐ。

この工場は、当社工場の西側に増設する形で建設を進めていたもので、およそ18坪(59.6平方メートル)の建物の中に、新たに包装機や金属探知機、冷蔵庫や作業台などを導入、新たな魚醤油製造の専用工場として稼働する。

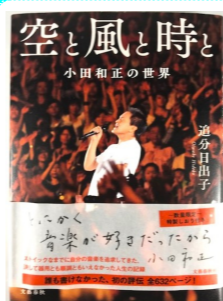
一昨年から受注が急増し、欠品が相次いでいる魚醤油

「キンキの露」の製造能力向上と、新ラインでの魚醤油製造で、新たなシリーズの発売を計画している他、HACCPなどの食品製造の、国際基準を満たすための製造現場構築を図る予定だ。

能登半島地震で被災された皆様へ心からのお見舞い申し上げます。

元日の大震災から、4カ月が経過しましたが、まだまだ本格復興へは、遠い状況が続いています。当社のお得意先様やお取引先様も被害に遭われ、大変な状況に言葉も見つかりません。一刻も早くインフラ復旧と日常の生活が戻ることを願っております。

### 私の一冊



空と風と時と小田和正の世界 追分自出子著

### 空と風と時と小田和正の世界 追分自出子著

旅好きな私、中井英策商店社長の及川が最近読んで面白かった本、感動を受けた書籍を紹介するコーナー。

今回は、シンガーソングライター小田和正氏の史上最年長ドームツアーに密着しながら、その半生を綴ったアルバム「追分自出子氏著『空と風と時と』・小田和正の世界」を紹介する。

小田和正氏は、今更ここで紹介するまでもなく、御年76歳

のベテラシンガーソングライターで、小生私もお大尊敬するミュージシャン。大好きな音楽を、ひたすら愛し続けて来た小田さんの人生がこの本から垣間見える。そう言えば、小田さんの創り出す曲の中に必ず出て来るのが「風」と「空」だ。その背景にはどんなドラマがあったのか？この一冊から読み解くことが出来る。文芸春秋社から、三千百九十円(税込)

## 北海道加工食品コンクール

# 北のマリネが奨励賞受賞

### 白ワインにあう自信作に高評価

「白ワインにあう北の生マリネ」が、先に行われた北海道加工食品コンクールで「奨励賞」を受賞した。

このコンクールは、北海道食産業協議会が主催し毎年行われている審査コンクールで、北海道内の優れた加工食品を、道内の食のプロたちが試食し審査するもので、今回で三十一回目を迎えた今年からは、道内各地から50品を超える商品がエントリーされ、その中で当社の新製品「白ワインにあう北の生マリネ」が、上位5品に選ばれ「奨励賞」を受賞した。

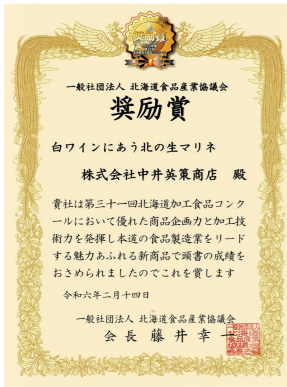
今年1月に行われた審査会のプレゼンテーションには、当社の及川代表が演説し立ち、同商品の特長や消費シーンなどをアピール、審査員からも「大変美味しい、確かにワインが飲みたくなる」や「パッケージもシズル感が溢れるデザインが好感が持てる」と好印象の意見が相次いだ。

今回の受賞について、審査員からの高い評価に「改めて、商品開発の方向性は間違っていない」と自信が持てる。さらに商品PRを進めたい」と及川代表は期待を寄せている。



「白ワインにあう北の生マリネ」が、先に行われた北海道加工食品コンクールで「奨励賞」を受賞した。

このコンクールは、北海道食産業協議会が主催し毎年行われている審査コンクールで、北海道内の優れた加工食品を、道内の食のプロたちが試食し審査するもので、今回で三十一回目を迎えた今年からは、道内各地から50品を超える商品がエントリー



## 目標比142%のご支援をファンディング頂きました

### 多くの皆様のご支援に感謝申し上げます



壁ばかりの人生でも・・・

中井英策商店、4代目社長の波乱万丈の半生を綴った直筆本の出版を目指し、今年1月末から3月にかけてクラウドファンディングでの支援募集を行ったところ、目標金額を42%を上回る沢山の皆様の熱いご支援を頂きました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます、改めて厚く御礼申し上げます。このご支援を背に、この夏7月初旬を目指し、現在最終の編集作業を行っております。皆様のご期待に添えますよう、面白く、そして為になる本の出版を実現するため、もう少々お待ち下さいますよう、お願い致します。取り急ぎ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

中井英策商店代表、及川昌弘社長直筆本の夏出版します。

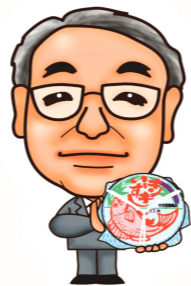


株式会社中井英策商店 代表取締役 及川昌弘 出版事業部



# 思い出旅日記・鉄道編(21)

鉄道大好き社長であります私、中井英策商店代表の及川昌弘が思い出す全国の鉄道に乗って旅するレポート、乗り鉄旅シリーズ、今回で節目の21回目の今回は、首都圏でありながら歴史と海を感じるほどの感のあるJR横須賀線の大船から久里浜駅まで旅したレポートをお届けします。比較的短い路線ながら、鎌倉周辺の歴史と、横須賀を中心とした海、そして開港の歴史などを感じる素敵な旅でした。



大船駅からは、東海道線と別れ横須賀線に乗り換え、次の駅、北鎌倉へ向かう。朝早く8時10分の電車に乗ったこともあり、中学高校生の通学客がほぼ全員降りたのかと思うほど、この北鎌倉で下車、その通学生の波の中にも位置する大船駅から久里浜駅間の三浦上野を巡るイメージの路線で、全長23・9kmと比較的短い路線ではあるが、東京や横浜などからの直通路線が殆どこの為、それほど短い路線の印象は無い。

乗旅をしてレポートをお届けする大好評シリーズ。今回は、首都圏の比較的短い路線でありながら、鎌倉や車道で知られる横須賀などの見どころたっぷりの横須賀線を旅しました。JR横須賀線は、東海道線にも位置する大船駅から久里浜駅間の三浦上野を巡るイメージの路線で、全長23・9kmと比較的短い路線ではあるが、東京や横浜などからの直通路線が殆どこの為、それほど短い路線の印象は無い。



北鎌倉の円覚寺



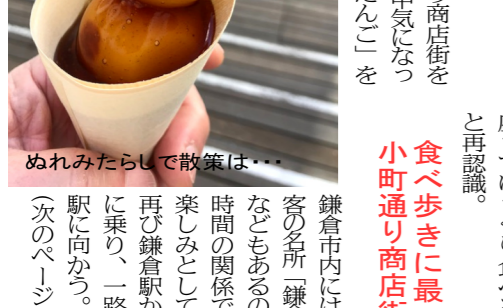
北鎌倉の円覚寺



北鎌倉の円覚寺



ぶらり散策名所の小町通り商店街



ぬれみたらして散策は...

## 首都圏ながら歴史と海感じる旅(大船〜久里浜JR横須賀線)

この北鎌倉は、知る人ぞ知る神社仏閣が狭い町に大きな存在感を誇示する街で、その中でもこの円覚寺や、あじさい寺で有名な明月院、東慶寺など人気のお寺も多い。その中でも今回は、鎌倉時代後期に創建された関東最大の国宝鐘が有名な、円覚寺に参拝料

五百円を払い、入館、門には鎌倉幕府8代執権北条時宗公御廟所と記されるなど、歴史を感じさせる。参拝後、再び北鎌倉駅から電車に乗り、次の「いざ鎌倉」へ。実は、あれだけライオン時代に全国の観光地に取材に出かけた経験があるのに、何故か鎌倉だけは行く機会が無かった。今回、人生初の鎌倉入りワクワク感が止まらない。噂通りに、電車は北鎌倉から狭い山中を通り、視界が開けたと思うとすぐに鎌倉市街地に入ってきた。大船から僅か10分弱ですぐに到着する鎌倉は、首都圏とは思えないようななせか違う空気が漂っている。

今更説明も不要だが、あの源頼朝が創建したことであまりにも有名だが、大河ドラマ鎌倉殿の十三人でも放送された後ということもあってか、

観光客は予想以上だった。境内に続く参道の階段の左横には、鎌倉幕府三代将軍源実朝を暗殺した公暁が身を隠していたらしき場所にお供えのスペースが設けられているのが気になる。境内には、あの北条政子が良縁や安産など女性の幸せを願ったとされる「北条政子の石」が安置されており、思わず我が妻、娘の幸せを願ったのは言うまでもない。

購入、食べながら歩いたのだが、これが大失敗。余りのみたらしの多さに、服にみたらしが付いてしまい、それを拭くために手まで濡れてしまった。「ぬれみたらしだんこ」は、座ってゆっくり食べるべきだと再認識。食へ歩きに最高小町通り商店街



女性の幸せ祈願「政子石」 大船駅から見た大観音

# クラファン多額支援頂く 対目標比142%達成 返礼品グレードアップも検討へ

当社中井英策商店が、今年1月22日から開始したクラウドファンディング事業が、3月8日の終了までに、目標の六十万円を大きく上回る八十五万五千円、対目標比で142%を達成、大人気のうちに支援募集を終えた。このクラウドファンディングは、クラウド主催サイトの、CAMPFIREを活用する形で、当社中井英策商店が出版元となって出版する自作本「一作目「なせど成らぬことばかり」・「されど楽し我が人生」」の出版支援者を募る形で行ったもので、サイトを通過した支援者が、トータル

六十二名、最終的には目標を42%上回る85万円を達成した。これについて、当社及川社長は「私個人の半生を書き綴った自作本に対して、予想を遙かに上回るご支援者のご支援を頂き、大変嬉しく有難い限り」と感激のコメントを寄せている。目標を大きく上回る支援金が集まったお礼として、支援者に対しての返礼品(リターン)は、当初の予定商品よりグレードアップした非売品セットを送る計画で、出版する本とともに、ご支援者に手元にお届けする計画だ。



ホタテ貝柱をバーナーで炙り作業

原因不明の奇病発生や、貝毒発生による漁業規制など、ホタテ漁が出来ない状況が続いていて心配された、当社の人気商品「炙りホタテいすし」の製造仕込みが、3月からのホタテ漁解禁を受け再開、出荷されている。今年、ホタテ漁が出来

春の訪れを告げる、毎年恒例となったイベント催事が今年も始まった。これは、毎年2月から5月まで、全国の百貨店や量販店、物産館などのイベントに呼ばれる形で、当社がブリス出店し、当社の看板商品「キンキいすし」を中心に試食販売を展開している。



春のイベント活況スタート

海がダメなら陸探入 当社新事業来月スタート 道内農産物加工事業開始へ 海だけじゃなく、陸の素材活用へ。当社、中井英策商店は、かねてから活用を模索していた北海道農産物を再利用する形で、新たな新製品開発を来月から着手する計画となった。これは、創業以来九十七年

水産素材だけでなく北海道内で生産される農産物一次産品を活用して新たな新製品開発に挑戦することになったもので、先に道内の農業生産者団体との打ち合わせを行い、今後の計画のすり合わせを行った。これについて「地球温暖化による海水温上昇などの影響で、水産加工業は厳しい経営環境下に晒されている。水産素材だけでなく、農産物にも視野を広げることで、新製品開発の新たな可能性に挑戦したい(当社及川社長と、新たなジャンルの商品開発に意欲を見せる。当面、5月下旬から入手可能となる道内産農産物を利用した加工食品の試作に取りかかり、早ければ秋からのテスト販売にこぎ着けたい計画で、来以降、本格増産ライン構築を行う計画だ。

不漁乗り越え製造再開 当社『炙りホタテいすし』小ぶりでも美味しさ変わらず 来立てのホタテいすしが連日出来上がっている。当社の人気いすし「炙りホタテいすし」は、当社地元噴火湾産の活ホタテだけを火湾産の活ホタテだけを使用しており、豊浦町礼文華海岸の漁業者から獲れたての活ホタテを提供頂き、仕込みを行っているが、ここ数年は貝毒や奇病の発生など極端な不漁が続いている。今年も、規制が続いていたが、加工食品用に限った漁解禁を受け、待望の仕込みが再開された。今年、活ホタテは、貝柱が小ぶりサイズは小さいながらも、変わらぬ美味しさで、当社工場では連日、貝柱を軽く炙って漬け込む作業が行われており、およそ一か月を経て、4月下旬から商品として出荷されている。

『なせど成らぬことばかり』 来月から先行予約割引開始 当社及川社長自作本7月出版へ 当社の及川昌弘社長が、波乱万丈な半生を自ら書き綴る自作本の出版が、先のクラウドファンディングの成功を受けて、順調に編集作業が進行、当初の予定通り、7月上旬の出版を目指し、作業が進んでいる。

この本は、若い頃に会社を二度も潰すなど波乱の半生を歩んだ当社社長が、記憶から記録に残したいとの思いから出版を決めたもので、本のタイトルは「なせど、成らぬことばかり、されど楽し我が人生」という、完全ノンフィクション。B6サイズで三〇〇ページを超える大作になる予定で、出版元は当社、中井英策商店、当社通販での限定販売で定価1650円(税込)。来月から先行予約割引で、半額以下の700円での出版記念セールを行う予定だ。

当社及川昌弘社長が、波乱万丈な半生を自ら書き綴る自作本の出版が、先のクラウドファンディングの成功を受けて、順調に編集作業が進行、当初の予定通り、7月上旬の出版を目指し、作業が進んでいる。